

三好丘中学校区人権教育総合推進地域事業だより

—三好丘中・三好丘小・黒笹小—

スクラム

三好丘中学校区人権教育推進委員会

平成30年2月27日 No.3



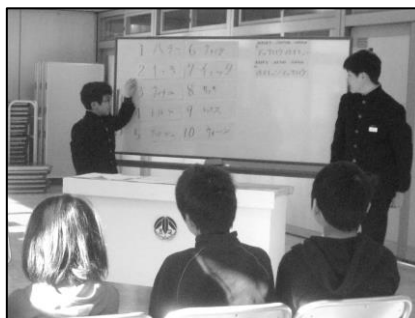
やさしい心で広がる輪

三好丘中学校の特別支援学級の生徒が1月11日(木)に黒笹小学校へ、1月15日(月)に三好丘小学校へ訪問し、交流会を行いました。「小学生を楽しませたい」という思いで生徒は準備を重ねてきました。5年目を迎えた今年度も、楽しい交流会になりました。

それぞれの交流会では最初に自己紹介をしてから、三好丘中学校の生徒が小学校と中学校の違いについてクイズを出しました。また、ウズベキスタン出身のALTのマンズル先生から教えてもらったウズベク語を、クイズ形式で出題して小学生に教えました。その後、三好丘小学校では椅子とりゲーム、黒笹小学校ではボーリングゲームをしました。どちらの学校の活動も大いに盛り上がり、笑い声があふれました。小学生を気遣い、その場に合った行動や言葉がけに気をつけて過ごすことができました。



【左:クイズをしている様子
右:ボーリングをしている様子】



【ウズベク語を教える様子】



【イスとりゲームをしている様子】



【泣いた赤おに上演の様子】



【卒業を祝う会の集合写真】

2月13日(火)にはみよし市内の全中学校の特別支援学級の生徒が集まり、卒業を祝う会が行われました。午前には各校からの出し物を披露しました。三好丘中学校はペープサートで「泣いた赤おに」をしました。この日のためにセリフを覚えたり、臨場感を出した演技ができるようにさまざまな工夫をしたりしながら練習してきました。

午後は1、2年生から3年生に手紙を読んで感謝を伝えました。また、3年生からは後輩へのねぎらいの言葉が贈られました。生徒はやさしい心でつながり、会場は温かい雰囲気になりました。校長先生方も「丘中、すごいね」と驚いてみえました。

(研究主任 林 勝也)



授業中やることがわからなく困っていると、こうするんだよと声をかけてくれました。ぼくも周りの人への気遣いができる人になろうと思います。今までありがとうございました。

僕は今年で卒業します。次は後輩のみなさんの番です。周りを見て行動できたり、他の人を気遣ったりできる皆さんなら新一年生を助けられる先輩になれると思います。





1月16日(火)に3年生が中部盲導犬協会の方から、盲導犬についてのお話を聞きました。3年生国語科「もうどう犬の訓練」の学習に関連して、福祉実践教室での体験や活動を通して、視覚障がいのある人の思いや、寄り添う犬の働きを知り、共に支え合いながら暮らしていこうという気持ちを高めることが大きなねらいです。

この日に来てくれた盲導犬の名前はオプティです。目の見えない人の気持ちを少しでも知るために、目隠しをして歩いてみました。立ち止まったり、ふらふらしたり、怖くてなかなか前に進みませんでした。次に、盲導犬のオプティと一緒に歩いてみました。目隠しをして一人で歩いたときとは違って、すごくスムーズに歩くことができました。児童は、盲導犬と一緒に歩く体験を通して、盲導犬がいるときといないときでは歩くときの気持ちが全く違っていたことを実感することができました。(研究主任 多治見 哲也)



【 盲導犬体験の様子 】

わたしは、はじめてもうどう犬が訓練をしているのを見てすごいなと思いました。もうどう犬のオプティは、みんながさわってもおこらなくてえらい子でした。もうどう犬は、むずかしい訓練でも、ほめてあげればできるようになることが分かりました。人間だとおばさんくらいの年なのに、すごいなといっぱい思いました。これからも、もうどう犬のことについて、たくさん知りたいです。

三好丘小学校 3年 寺嶋 夢愛

【 盲導犬について学んだこと・感想 】



本校の教育活動では、様々な場面で地域の方々に支えられています。毎日のボランティア活動をはじめ、一年を通して、地域の方々をお招きしての体験活動に取り組んでいます。今年度は、2年生のピオトープ見学、3年生の地域探検でも地域の方にお世話になってきました。

2月8日(木)には、5年生が、地域の方々22名を講師としてお招きし、棒の手、竹馬作り、おこしもの作り、茶道、箏、囲碁、お手玉作りの7つの講座に分かれ、和の文化を実際に体験しました。竹馬作りの講座では、完成した竹馬でひたすら練習しました。バランスのととり方が難しく講師の方にアドバイスをいただきながら、貴重な体験をすることができました。子どもたちは、こうした活動を通して日ごろの学習では体験できないことに挑戦できたり、地域の方とコミュニケーションを深めたりすることができ、視野を広めることができている。今後も、地域の方の力をお借りし、地域に根ざした学校教育を進めていきます。(環境づくり部 渡邊 圭子)



ぼくは竹馬を作るコツやひもを固く結ぶコツを教えてくださいました。ありがとうございました。誰が一番早くゴールできるか競争もしました。家に持ち帰ることができたので、今度、公園や家でやってみようと思います。家族のみんながどのくらいできるかも、やってみたいです。

5年 磯崎 悠貴

